

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 早期がんを一元的に診断・治療できる医療技術の開発
2. 研究代表者： 淵上 剛志（金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、血液や尿を用いた早期がんの検出、精密画像診断、効果的な治療の一連のプロセスを一元的に行える機能性分子を開発し、「早期がんの初期段階での発見および敏速で効果的な治療ができる一元的な医療技術」への展開を目指す。フェーズ 1 では一元的診断・治療について多角的に研究を進め、様々な標的やストラテジーでプローブ、治療ツール開発を行い、着実な成果を上げたことが評価できる。フェーズ 2 では、臨床試験への道のりを見据えて、研究を発展し、一元的な医療技術開発に繋げることが期待される。臨床応用を見据えた臨床との連携強化により、破壊的イノベーションに繋がる成果が生まれる可能性に期待する。

以上